介護予防・日常生活支援総合事業

老人クラブの参画に向けて

２０１６年１０月２６日（水）

公益財団法人　全国老人クラブ連合会

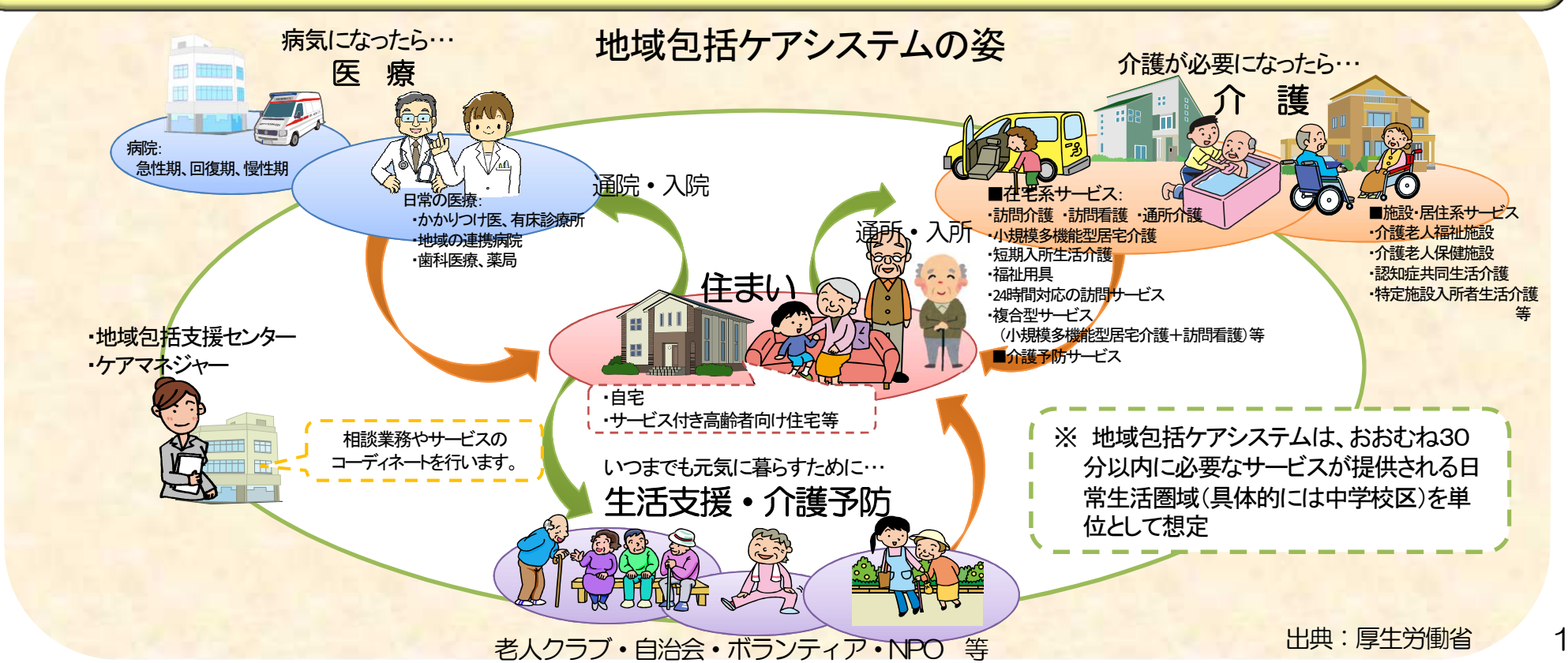
地域包括ケアシステムの構築について

○　団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現**。

○　今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。

○　人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**。

○　地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要。



出典：厚生労働省

生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加

○ 単身世帯等が増加し、支援を必要とする軽度の高齢者が増加する中、生活支援の必要性が増加。
ボランティア、NPO、民間企業、協同組合等の多様な主体が生活支援・介護予防サービスを提供することが必要。

○ 高齢者の介護予防が求められているが、社会参加・社会的役割を持つことが生きがいや介護予防につながる。

○ 多様な生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりを市町村が支援することについて、制度的な位置づけの強化を図る。具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置などについて、介護保険法の地域支援事業に位置づける。

地域住民の参加

生活支援・介護予防サービス

○ニーズに合った多様なサービス種別
○住民主体、NPO、民間企業等多様な主体によるサービス提供

・地域サロンの開催
・見守り、安否確認
・外出支援
・買い物、調理、掃除などの家事支援
・介護者支援　等

高齢者の社会参加

○現役時代の能力を活かした活動
○興味関心がある活動
○新たにチャレンジする活動

・一般就労、起業
・趣味活動
・健康づくり活動、地域活動
・介護、福祉以外のボランティア活動　等

生活支援の担い手としての社会参加

バックアップ

市町村を核とした支援体制の充実・強化

バックアップ

都道府県等による後方支援体制の充実

出典：厚生労働省

老人クラブの組織

- 地域を基盤とする高齢者の自主的な組織
- 会員　60歳以上

- 全国　クラブ数　１０万５５００クラブ
　　会員数　６０６万１７００人

- 各段階で老人クラブ連合会を構成
　①（地区）　②市区町村　③都道府県・指定都市

単位老人クラブの平均的な姿

- 会員数　　６７人（女性6割、男性4割）
- 年齢　　７０代47%、８０代以上38%、60代15%

- 活動場所　町内会集会所や公民館など
- 財源　補助金23%、会費18%、町内会助成11%等

- 活動の連携　　町内会80%、行政67%、社協65%

（平成２６年度老人クラブ実態調査）

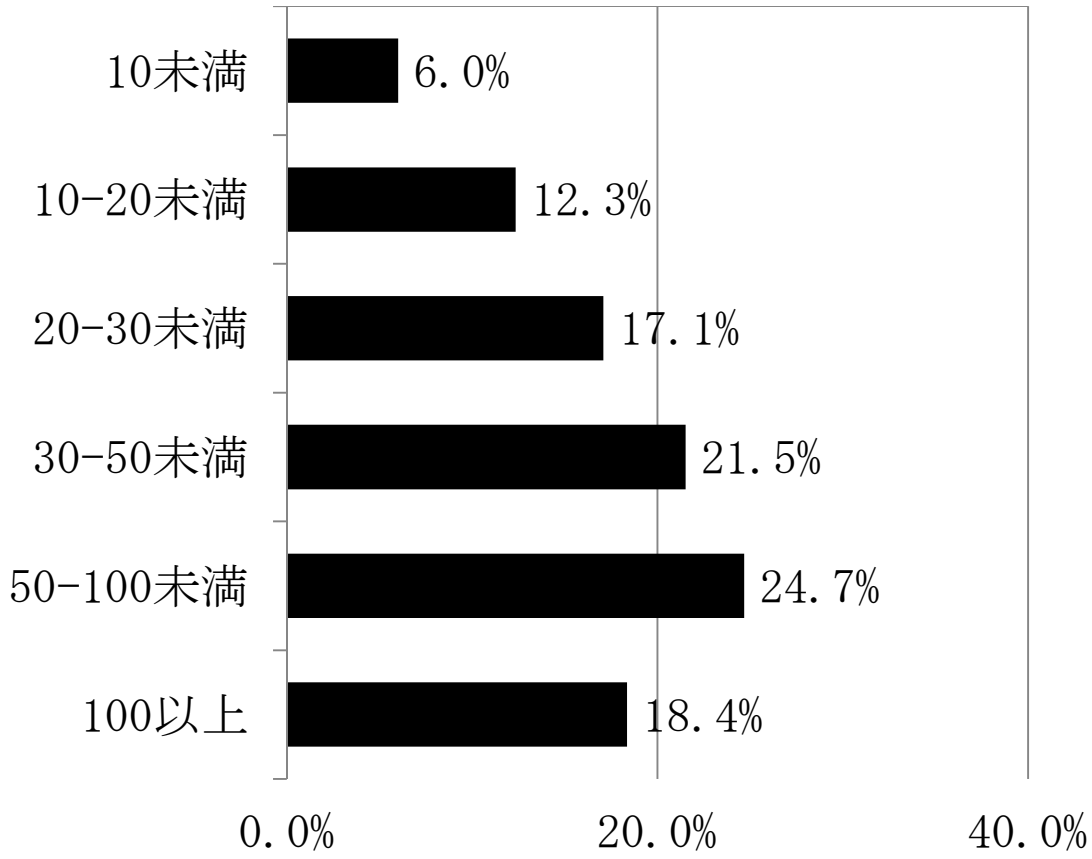
単位老人クラブの主な活動

平均１６項目、多彩な活動を実施

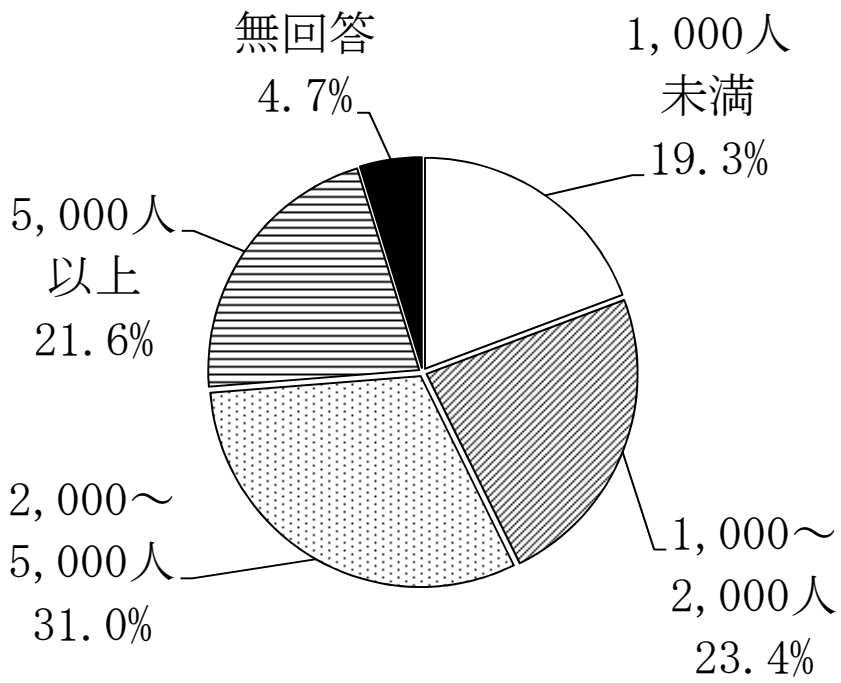
- 健康・・・健康・介護予防学習、グラウンド・ゴルフ
- 友愛・・・安否確認・声かけ、友愛訪問
- 奉仕・・・清掃、全国「社会奉仕の日」、募金協力
- 学習・趣味・親睦・・・新年会・忘年会、旅行、社会見学、趣味サークル⇒さらに活動が分かれる
- 地域・・・地域行事参加、交通安全、防災、子どもパトロール、消費者被害防止

市町村老人クラブ連合会の組織

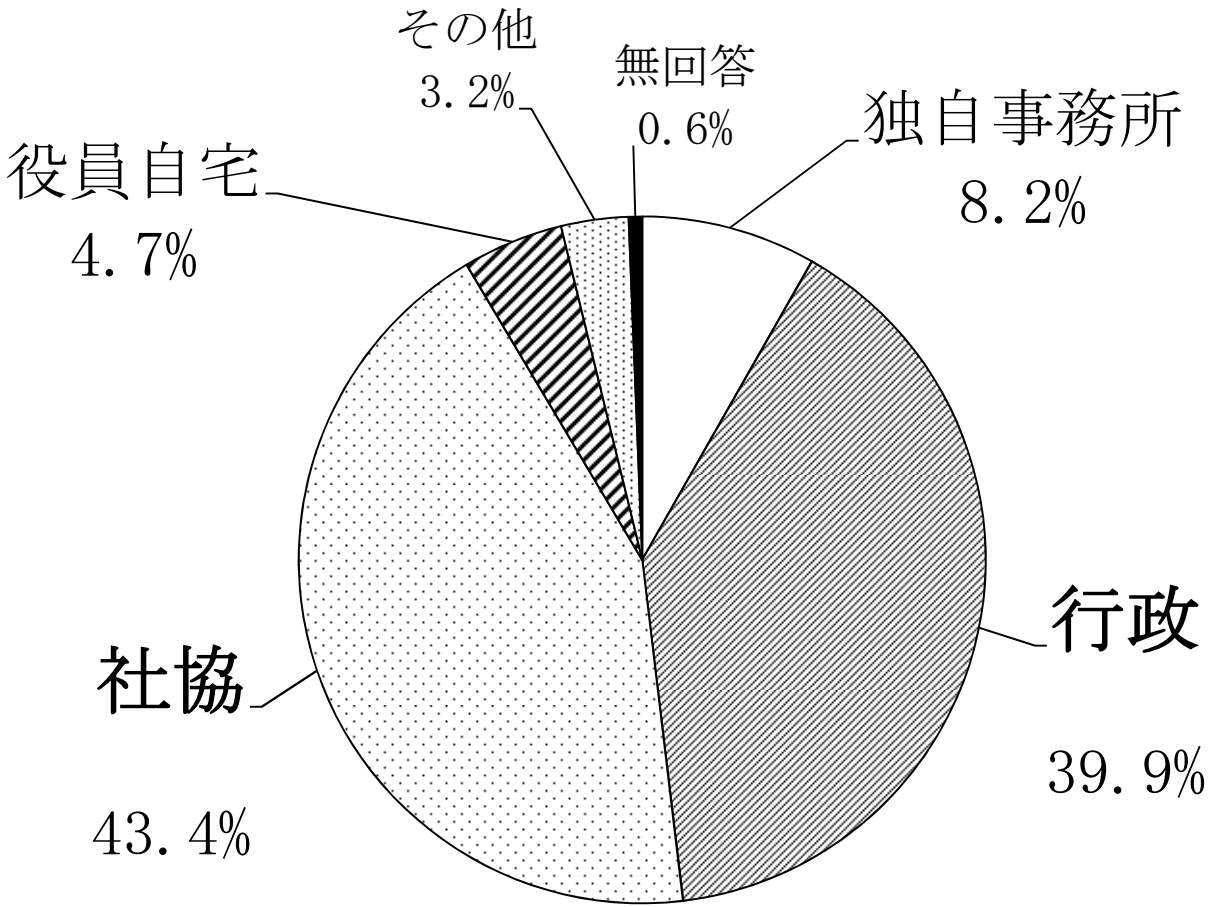
所属老人クラブ数　平均63クラブ



会員数　平均3700人



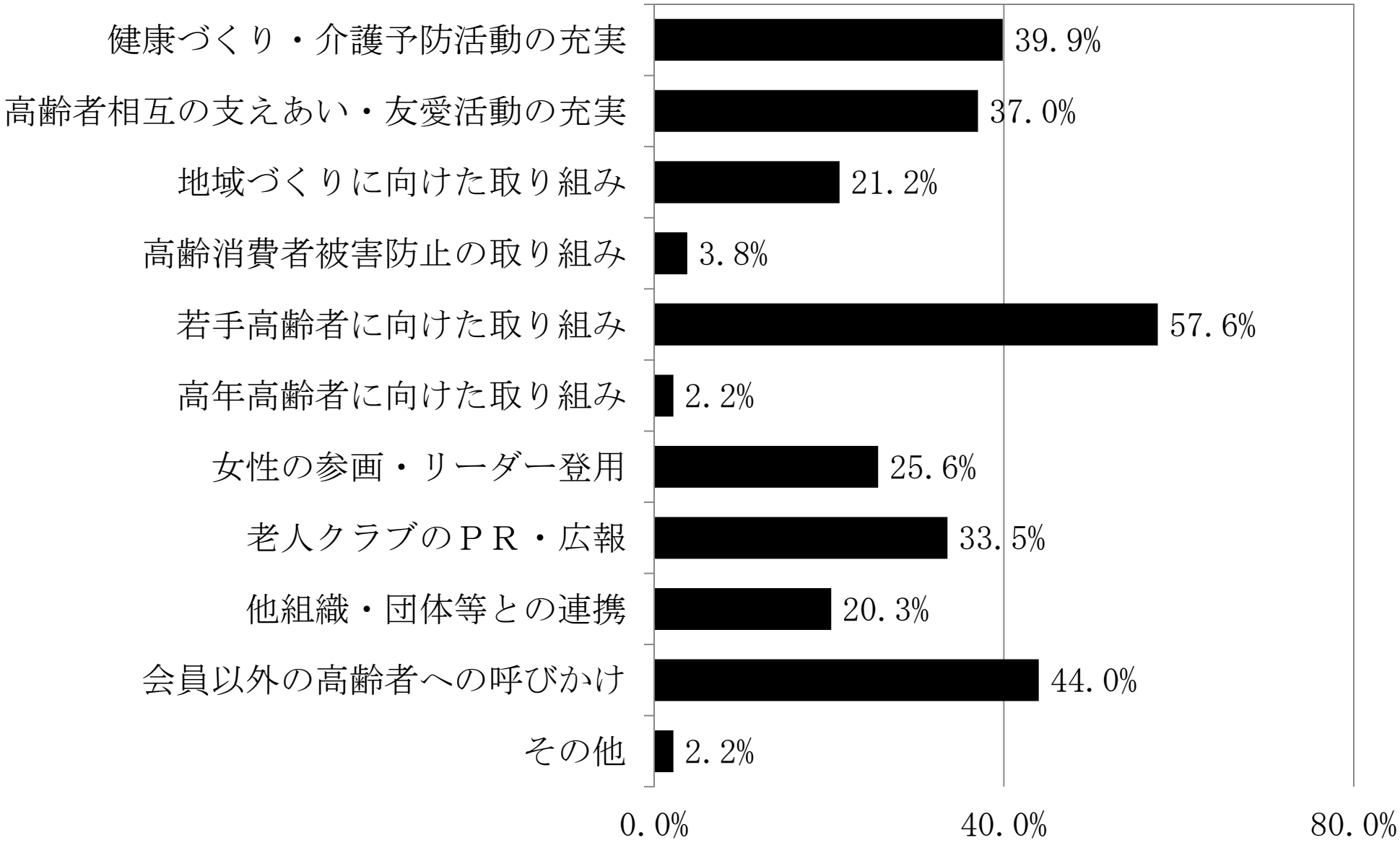
市町村老連の事務局設置場所



市町村老連の活動 （複数回答）

1.	スポーツ関連事業	90．2%
2.	交通安全等事故防止	84．2%
3.	芸能大会等趣味文化の発表	75．9%
4.	健康・介護関連研修会	74．1%
5.	「社会奉仕の日（清掃）」普及	71．8%
6.	世代間交流活動	70．9%
7.	消費者被害防止活動	70．2%
8.	地域見守りパトロール活動	64．2%
9.	ウォーキング・体操の普及	58．5%
10.	各種ボランティア活動	55．1%
11.	サロン活動	51．3%
12.	友愛活動関連研修会	50．9%

老人クラブ活性化のために大切になる取り組み（複数回答）



健康づくり・介護予防に関わるリーダー養成

【事例】

「健康寿命延伸リーダー養成講座」

とちぎ蔵の街（栃木市）シニアクラブ連合会

・7日間、98名参加

・講座　①医療の受け方　②薬の使い方

③食生活　④お口の健康

⑤認知症を知ろう　⑥運動（2回）

講座閉校式にて修了証授与

体操、ニュースポーツなどの運動

・ いきいきクラブ体操

・ ウォーキング

・ 運動会　世代交流も

・ 室内ゲーム

高齢者の体力測定

- 6種目

①握力　②長座体前屈

③上体起こし　④開眼片足立ち

⑤10m障害歩行　⑥6分間歩行

開眼片足立ち

見守り・安否確認

- 訪問活動　　・情報を届ける
- 近隣会員が異変に気づく

雪の日こそ訪問

集いの場「サロン」「カフェ」

- 老人クラブ主催のサロン、ふれあい喫茶・カフェ
- 社協主催サロンの協力

生活支援活動

- お助け隊
（生活の困りごと）

蛍光灯の交換

- 買い物支援、外出支援

【事例】
神戸市老連の生活支援ボランティア派遣事業

≪活動内容≫

1　部屋の掃除
2　日常生活用品の買い物
3　病院・役所などへの用務代行
4　話し相手
5　施設などへの慰問
6　電球取替など簡単な屋内作業
7　庭木の整理など簡単な屋外作業

老人クラブ会員によるボランティア

登録

- 「私が出来ること」を登録
- 登録者1237名

派遣

- 区老連へ派遣依頼
- ボランティア決定、派遣

活動報告

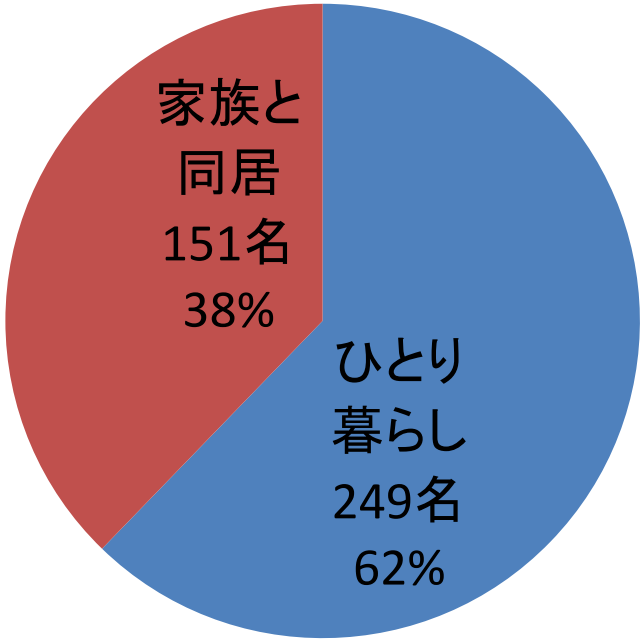
- 区老連へ活動報告
- 月毎に、市老連へ報告
- 活動内容と活動者数、利用者把握

活動別ボランティア延べ人数　（平成27年度）

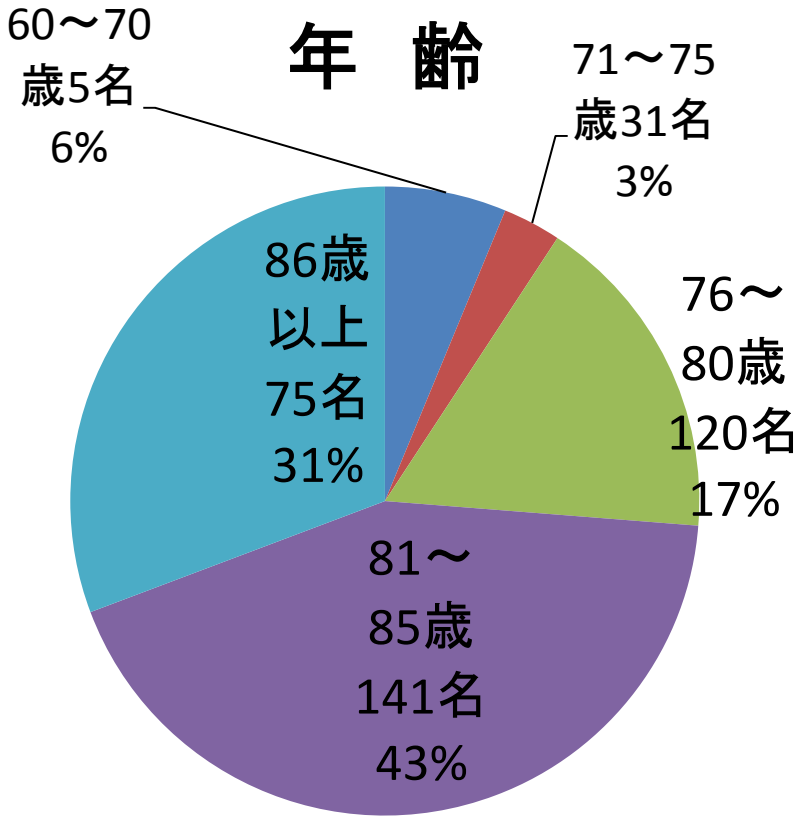
活動内容		ボランティア延べ人数	（割合）
1	部屋の掃除	781名	4%
2	買い物	1675名	9%
3	病院など用務	611名	3%
4	話し相手	10029名	55%
5	施設慰問	1720名	9%
6	簡単な屋内仕事	1151名	6%
7	簡単な屋外仕事	2433名	13%
	友愛事業合計	18400名	

１～3の活動（掃除、買い物、用務代行）利用者400名の状況

世帯状況



年　齢



介護予防・日常生活支援総合事業
参画の可能性

- 介護予防活動

  ほとんどの市町村老人クラブ連合会において、健康づくり・介護予防活動を実施している。

- 日常生活支援事業

  神戸市の事例のように、システムができれば参加する人材（会員）はいる。

・ 老人クラブ会員による相互支援の量は大きい！